令和５年度　静岡ホーム保育学園事業報告書

５月にコロナが５類になったが、それからの方が感染も広がり、職員は９月に同時期に 10 名罹患し給食が提供できず職員配置も厳しかった時期があった。子どもたちは、コロナの罹患よりも、インフルエンザの感染の広まりの方が目立った。保護者がコロナにというケースもあり、１年じゅう何かしらの感染症が出ている状態で、職員配置をいつも心配している１年だった。

緊急事態宣言から緊張の中働いてきた職員たちも、疲れが出てきて、心身の休養が必要で「職員へのサポート」も時間の許す限り丁寧に行った。感染予防のためにお互い我慢してきた事、伝えきれなかった事を少しずつ共有しながら、悲しい保育事故が起こらぬよう、不適切な保育につながらないよう、人間関係をつむいでいく事に重きを置いた。

外部との交わりも増えてきて、富士山しずおか交響楽団の訪問コンサートが抽選で選ばれ、ランチルームで打楽器の音色に心弾ませる共有体験ができた。ランチルームで生のプロの演奏を全園児で聴くのは初めての事だったので、子どもはもちろん職員も特別な体験となった。

2023年主題　「ともにつむぎだす」～希望の中で～
中長期目標　「2030 年　保育学園 100 周年」を大きな区切りと考えて・・・

１　2023 年中長期計画

（1）　**園内研修公開保育３園を見に行く**　（0 歳児入所数の安定育児担当制保育を確立する）

園内公開保育のリーダーである主任保育士が、公立のこども園と清水区の私立園の 2 園のみ実施となってしまったが、園内公開保育を３回行う、モチベーションになった。

また、社会で注目されてきた保育士が同じような悩みを持ちながら日々保育にあたっていることを実感でき大きな励みとなった。

（2）　**平均３組/1 回　リユーススペースを通年開催**　（オープン保育園の子育て家庭の利用を増やす）

18 組、　14 日利用者あり　　来園時平均年齢　１歳９カ月

夏の猛暑・雨天の日もあり、園庭で気持ちよく遊べる期間が限られているため、年間３分の 1 くらいの日数しか来園がなかったが、来た親子はのびのびと 11 時過ぎまでたっぷり遊んでいた。

リユーススペース「どうぞのひろば」は、昇降ホール壁に棚を取り付け、リユース品を見やすいように環境整備を進めた。

（3）　**常勤保育士現在１２名(－2)＋２名確保する**　（保育士の確保）

常勤保育士、４月に１名(養成校卒)採用したが、コミュニケーションがうまく取れず上手く育成ができなかった。出産、育児休業後の就労に難しさを感じたり、コロナの間我慢してきた気持ちが解放され、新しい職種に挑戦したいと思う者など、常勤保育士２名（1 名身分切り替え）非常勤保育士２名、派遣保育士１名が年度末退職となった。

R6 年度採用として、養成校から 2 名、非常勤より昇格 1 名、常勤保育士が確保できたが、確保してもプラスマイナス０という状況が続いている。非常勤保育士もなかなか見つからない。ただ、やっと調理員(栄養士資格者)が見つかり、給食室だけは安定した。

２　入退所児童の状況

入所人数としては、年度初めから１３５名、０歳児も５名と４月当初より人数を確保できた。また０歳児は９月まで毎月入所が続き、３月には１４名まで増やすことができた。

卒園遠足はインフルエンザの流行時期と重なり全員そろわなかったが、3月２５日、第９７回卒園証書授与式は、卒園児２７名全員揃い挙行する。今年度は、９つの小学校へ巣立っていった。うんどう会もそうだったが、小学校（今年は初めてこの園舎で卒園式をした６年生たちだった）・中学校の卒業式後に卒園児がたくさん来てくれ、祝福と感謝にあふれた年度末の締めくくりができた。

〈総　活　表〉　（単位：人）

種　　別	定　　員	5年4月1日	6年3月末日	比較増減
保育所	140	135	142	+7

〈入　退　園　状　況　(前年比)〉　（単位：人）

前年度継続	新規入所	中途退所(転園)	中途入所	前年度との比較増減
111(+2)	24(+5)	5(+4)	12(-4)	+5

児童発達支援事業所との並行通園する子、なかなかそこまで繋げられない子、クラス運営に悩みを持つクラスばかりだ。障害児の学びを深めるために、今年度初めて市の補助事業「保育・教育巡回支援」で助言を受けた。

３　園内行事

コロナ前の開催と同じように保護者に来てもらいたいと計画していくが、必ず感染症の心配が出てきて、併せて熱中症の心配も考慮しなければと思うと、保護者への発信までに時間がかかってしまう時があった。待たせてしまったがその分、満足してもらえる行事が開催できた。

４月、イースター礼拝から始まる。小さな子も卵をもらい、ぎゅっと離さず持ち帰る姿や、美味しく食べたとの報告を聞き、今年も園と家庭の距離をぐっと近づける年度初めの行事となった。

６月、今年の花の日の厚生苑「清流の郷」に慰問は、デイサービスの部屋に入室させていただき、直接利用者の方全員に花のアレンジメントを手渡し、一緒に童謡を歌い、をさせてもらい、お互いぬくもりを感じあう、年長児には貴重な体験となった。

９月に、親子クッキングを再開することができ、朝食にもあう紙コップで作る、チーズやコーンを入れた蒸しケーキを作る。年長児の希望の親子が楽しんでくれた。中旬に、栄養士を含む職員が 10 名コロナに罹患し、４日間お弁当の日（おやつは提供）にさせてもらった。

１０月、うんどう会に、未就学児と卒園児に案内のメールを送った。特に卒園児が久しぶりの案内だった為、100 名近く集まった。

１１月、感謝祭の日は、礼拝の後、ご近所、嘱託医、消防署などに、家庭から持ち寄った果物を篭盛りにして届け喜んでいただけた。

１２月、幼児クリスマス会は来賓を招く。このページェントを「いろいろな方に観ていただくことができたら」、と改めて、大切にしていきたい行事だと再認識する日となった

２月の「ミモザふぇすてぃばる」は、初めて外部業者販売を取り入れてみたが好評。だが何より、給食室の「白玉ぜんざい」を喜んでいただけて良かった。

３月は、感染症の心配はあったが、卒園児が全員そろい、保護者、職員の温かい拍手の中、最高の

姿を見せてくれた。

〈園　内　行　事　等〉

	日	行事等		日	行事等		日	行事等
4月	1 8 11 13	入園式 はじめましての会 動物教室 イースター礼拝	8月	5 8 20 ～ 26 30	夏まつり コンサート 保護者面談週間 災害伝言ダイヤル	12月	1 10 18 23	来年度入所面接 クリスマス祝会 保育・教育巡回支援 クリスマスパーティー
5月	11 12 17 25 27 30	歯科検診 母の日礼拝 内科検診 交通教室 乳児保護者懇談会 エスパルスサッカー教室	9月	2 15 16 19 ～ 21 25	親子クッキング 保護者会草取り (2日間) ふれあい週 障害児巡回指導 引き渡し訓練	1月	9 19 23 26 30	新年礼拝 シルエット劇場 国際交流事業(4歳児) 卒園遠足 (明治お菓子工場) お正月遊びの日
6月	15 27	花の日礼拝 （清流の郷） 花火教室	10月	7 17 19 20 24 27 31	うんどう会 内科健診 歯科検診 秋の親子遠足 (るくる) 歯みがき巡回教室 目の検査 礼拝(静岡教会)	2月	2 5 ～ 8 ～ 14 17	節分の会 保育参観週間・ 絵画展･給食体験 交通教室（5歳児) 乳児ミモザふぇす
7月	12 ～ 19	保育参観週間	11月	7 9 11 17 28	総合避難訓練 収穫感謝礼拝 花育教室　幼児懇談会 乳児クリスマス会 アドベント礼拝	3月	12 8 15 23	ひなまつり 新入園児説明会 お別れ遠足 お別れパーティー 卒園式

☆毎月１回

◎合同礼拝　◎おめでとうの日　◎身体測定　◎避難訓練

◎おはなし会　◎英語であそぼう　☆毎週体操教室

４　子育て支援

くまちゃんひろばの方は、うんどう会、ミモザふぇすにも、今年は案内ができ、計画通り行うことができた。北部アリーナでの合同おしゃべりサロンも開催し、保育学園で計画した、「トランスパレントペーパーでの折り紙あそび」が好評だった。

オープン保育園日は、晴れの金曜日となっているので、感染症の流行、熱中症の心配もあり、昨年より少ない、14日の利用、18 組の親子が来てくれた。駐車場が使える利便性や、一時預かり室の利用も検討し、地域への周知を図っていく。

安西小で行っている子育てサロン「ひよこ」は、行事と重なりやすく、どうしてもいけない日もあったが、11 回中 4 回行くことができた。スタッフの方に、「来てくれると、安心感がある」と言っていただけた。

〈子育て支援〉　　(単位：人)

事業名	月　日	内　　容	参加人数子ども（親）
子育て支援事業	4.28	保育園へようこそ　～園庭であそぼう～	６（６）
	5.26	カメラマンさんによる親子撮影会＆園庭であそぼう	19（１８）
	6.23	保健師さんおはなし 【離乳食体験】中期～１歳	１１（１１） 【4】
	7.28	プールで水遊び	８（7）
	8.25	プールで水遊び part②	８（8）
	9.8	かえでホールであそぼう	10（10）
	10.7	保育園の運動会にどうぞ	15【１１】
	10.27	歯科衛生士さんのおはなし	６（６）
	11.2	北部地区保育園合同あそび「親子であそぼう」 北部地区保育園・北部保健センター＝共催＝	
	11.24	大きないちょうの木の下で～あきをみつけよう～ 【給食体験】完了している１歳以上	10（9） 【5】
	1.26	おはなし会（おはなしゆみこさん・のぶこさん）	17（１７）
	2.17	ミモザふぇすてぃばるにどうぞ	12（１２）
	合　計	122 人（昨年度 88 人）	

５　地域との交流

『そらいろのたね』子育て機関誌№.３６、３７号を発行。ミモザふぇすてぃばる、クリスマス祝会の様子をそれぞれ掲載し、コロナ前のように行事が行えるようになってきた事を伝えた。

また、11 月に開催している「保育フェアー」（葵シンボルロード）、北部地区合同子育てサロン「親子であそぼう」（北部アリーナ）にも、通年のように参加し手作りおもちゃキットとトランスパレントペーパーでのおりがみ遊びを準備し、来場した親子に提案した。

妙見神社の七夕夏まつりには、今年も大きな笹飾りを２本広場に飾ってもらった。

その他、浅間通り商店街の７月の七夕に、近隣の園と同じように、「保育学園の笹」を用意していただき、親子で書いた願い事の短冊を飾っていただいたり、５月の母の日には「マム」の店内に子どもたちの書いた「お母さんの絵」を展示していただいたり、地域に園をアピールするチャンスが増えた１年だった。

６　一時預かり事業・延長保育事業

一時預かり事業については、就労理由での問い合わせも増え、全部は対応できなかったが、幼稚園に通所しているが、夏休みなど幼稚園が休みでどうしても仕事の対応や、養護施設の育休復帰の職員など対応で預かる。園側の職員配置が難しい夏休み、年度末、（土曜日）の問い合わせ希望が多く、預けられる子どもたちには、休みがないのではと心配になった。

延べ人数７４人減、前年比 51.4%減の事業活動となった。

〈一時保育事業利用状況（前年 144 名　51.4%減）〉　　（単位：人）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計人数
非型					2	8	12	9	8	11	4	9	63
緊急													0
私的		1	5	1									7
計	0	1	5	1	2	8	12	9	8	11	4	9	70

（非型）短時間・断片的勤務　（緊急）緊急・一時的　（私的）心理的・肉体的負担の軽減

延長保育事業は、コロナが 5 類になった 5 月から、保護者の就労形態が変化し始め、6 時半以降まで残る預かりが増え、延べ利用者が前年比 2 倍の数字になった。在宅勤務の保護者もいるが、就業時間は出社勤務と変わらないので、遅番の児童がどんどん増えている。長時間預かり児が増え、発達が気になる子は特に遅番時に疲れが出て、トラブルや事故が起こりやすい。保育士の負担も同じく疲れなどから、配慮が行き届かない時もあるので、園長がフォローに入ったり預かりグループを分けたり工夫をした。

延べ人数 372 人増、前年比 203%増の事業活動となった。

〈延長保育事業利用状況（前年　6 時以降 361 名　203%増）〉　　（単位：人）

区分＼月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計人数
6時30分以降		19	32	26	29	47	47	54	42	49	58	37	45	483
6時以降	利用徴収	32	53	39	47	51	57	64	73	74	84	61	51	686
	免除	0	0	2	4	16	6	0	0	2	2	4	11	47
	計	32	53	41	51	67	63	64	73	76	86	63	62	733
短時間	利用徴収	5	2	5	12	10	5	3	7	2	8	10	7	76
	免除	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	5	2	5	12	10	5	3	7	2	8	10	7	76

7　職員の資質向上

今年度は、キリスト教連盟に加入し、園長は、名古屋での東海部会の園長研修会に初めて参加したり、浜松で全国保育研究大会がありお手伝いさせていただいたり、昨年までとは違う環境での学びが始まった。

主任保育士は、静岡保育士会ときわ支部会での、理事研修会で、近隣の主任保育士たちと、公開保育を観にいったり、情報交換を行う機会が与えられた。

キャリアアップ研修は、計画通り 4 名の保育士が受講できた。また、各会の研修にも参加することができたが、土曜日の研修には、参加希望が集まりにくい。また、保育士が本を自ら購入し学ぶやり方ではなく、知りたいことだけスマホで検索という学び方に変化してきていることが気になるところだ。

園内研修として、2 回保育士全員でオンライン研修に参加し、もう一つ 10 月からの研修も、毎日お昼休みの時間に、研修の配信を流した。自分の興味の薄いところにもアンテナをはってもらいたいと設定したが、関心度の差があからさまに出てしまった.

園内研修は、4つの部会で展開し、集まる回数を確保できるように考えた。ミモザふぇすてぃばるは、各部会が「おたのしみコーナー」で、学びの成果が発揮できた。また各部会の学びの共有もうまくできた。

公開保育は、年３回(3 歳児→5 歳児→1 歳児)と計画通り行なえた。主任保育士がリーダーとなり、２人の保育士がサポートする中で、公開保育開催への保育士の不安のハードルを下げることができ、全員で公開保育を行なう事の良さ・意義を体感できるようになってきた。

小学校へむけた公開保育は、安西小、井宮北小の先生が観に来てくださった。また、「末広学園」幼小接続意見交換会に、今年度は園長と主任保育士２人で参加でき、学びが共有できた。

園内研修部会　　１．あそびうた(わらべ歌)　　３．栽培・ガーデニング
　　２，おはなし(絵本)　　４，おもちゃ・ボードゲーム

聖書講話　　４月　7日　希望の要石イエス・キリストの御業の確認
　　11 月 21 日　祝福の祈りができる幸いの確認

〈キリスト教保育連盟研修会〉　　16 名参加

９月９日(土)	音で表現する・音でつながる下川英子氏	静岡ホーム保育学園	７名
11 月 18 日(土)	今こそキリスト教を！松浦浩樹氏	静岡教会	８名
2月 10 日(土)	リコーダー歌のコンサート	静岡教会	１名

〈キャリアアップ研修〉　　４名受講

障害児保育	グランシップ	７月４日～7月６日	１名
幼児保育	アクトシティ浜松	７月 26 日～7月 28 日	１名
保健衛生・安全対策	グランシップ	９月 20 日～9月 22 日	１名
保護者支援・子育て支援	アクトシティ浜松	10 月 11 日～10 月 13 日	１名

８　事故報告

事故報告６件。ケガで２回以上医療機関を受診したもの３件、メガネの破損で保険請求したもの１件。後の２件は、園庭大型引き戸の隙間（13.5 ㎝）から、駐車場にすり抜けてしまった事と、体操教室に移動したが、部屋に戻ってしまったことに担任がしばらく気づかなかったことの報告だ。例年起こるアレルギー食の提供ミスはなかった。

ケガの３件は、首から上のケガが（歯・顎・瞼)。骨折など大きな怪我はなかったが、目立つ顔のケガばかりだった。手をつけば防げたり、ふざけていなければケガをしなかったのではと思えるようなケガに感じる。何かトラブルが起きていなくても、ケガをするということを、皆で共有するためにも、事故報告書を大切に考えていきたい。

ヒヤリハット１５件。その中に「共有したい事項」と２つに分け、「共有したい事項」には、軽度な内容に当たるものを区分し、たくさんのケースの中に埋もれず、一つ一つの記憶の中に整理できるようにと考えた。その中には、少し視点を広げて、自分の担当外の子どもや場所に視点を動かし、職員相互で助け合えればと思いケースを出し合った。従来のヒヤリハットには、毎年上がる誤飲が心配なケース、子どもの所在確認の徹底（グランドでの見守り、押入れを開けた時の潜り込み）のケースが今年も挙がった。特異だと思ったケースに、３歳児の大プールで溺れそうになったケースがあった。この１０年なかったケースだ。保育士の配置が手薄でという原因ではなく、水位、入水のやり方、個

人配慮、保育士の経験不足など、ちょっとしたことが重なって起こってしまったケースと考える。このケースで、気を引き締めて、一つ一つのやり方を確認し、丁寧に協力して行うよう意識を高めることにつながった。

保護者からの意見・要望は 0 件ではあったが、保護者が降園時などに、クラス担任にちょっと愚痴を言いたい、少し気になっていることを言いたい、という報告が多くなってきている。

９　保護者アンケートの実施

保護者アンケートは、全体的には良い評価がいただけたと思うが、1 家庭、「大変不満」と思われている家庭があった。全体的に、コロナ感染対策で、いろいろなことに制約され、我慢してきたが、5 類になっても、状況は良くなっていない、反対に新たな心配が増えてきている中の子育て、今回、筆跡や提出のタイミングで回答者がわからないグーグルフォームで、回答を回収したこともあり、直接的な意見が出てきた。内容を職員全員で共有し、顔を見あってコミュニケーションをとる大切さを積み重ねていく中で、保護者の心をほぐしていきたい。

給食アンケートでは、噛める子に育ってほしいという思いから、家庭でよくとるたんぱく質（肉・魚）の回答を集めた。給食には、感謝の気持ちを素直に表してくれる家庭が多い。これからも 1 日 1 回の給食が子どもたちにとって楽しい時間となるよう、給食会議などで理解を深めていきたいと思う。また保護者には、あと 2 回の食事の見直し、朝ごはんを大事に考えていくことを、改めて呼びかけた。

10　職場体験・実習生の受け入れ

中学生の職場体験は、安東中学校からも、バスを乗り継いできてくれたりと、３校から、計９名受け入れた。また、企業訪問という形で、藤枝の高洲中学校の生徒 2 名が、来園し、インタビューに答えた。各校、少しずつやり方は違うが、これから将来を考えていく生徒たちが静岡ホームに来てくれるのはうれしいことだ。

養成校保育実習は、見学実習の希望もあり、３校、５名を受け入れた。今年度は、単位を一度落とした学生の再実習の受け入れはなかったが、通信教育課程での 50 代社会人の保育実習の対応が難しかった。実習生受け入れ園と養成校との連絡会もキャンパスの方で参加でき、県内の受け入れ施設の受け入れ状況も聞くことができた。今年は、インターンシップ(求職者・高校生)の受け入れもできた。

〈養成校保育実習〉

⑴ 保育実習（受け入れ順）

	人数	日数	延人数	
常葉大学短期大学部	１	１０	１０	２年次　保育実習Ⅱ
静岡産業技術専門学校	１	７	７	３年次　保育実習
大阪芸大短期大学部通信教育部	１	２０	２０	３年次　保育実習　必修・選択
常葉大学短期大学部	２	１２	２４	１年次　保育実習Ⅰ　園見学

⑵ インターンシップ

	人数	日数	延人数
常葉大学	１	１	１
静岡女子高等学校	１	３	３

≪付属明細書≫

1　入退所状況

(1) 保育人数　　(単位:人)

月別	初日人員	０歳児		１歳児		２歳児		３歳児		４歳児		５歳児	
		標準	短時間	標準	短時間	標準	短時間	標準	短時間	標準	短時間	標準	短時間
4	135	5		24		26		27		27		26	
		5		22	2	20	6	22	5	21	6	24	2
5	135	6		24		25		27		27		26	
		6		22	2	21	4	22	5	21	6	24	2
6	137	7		24		26		27		27		26	
		7		21	3	22	4	21	6	22	5	23	3
7	140	10		24		26		27		27		26	
		9	1	21	3	22	4	21	6	22	5	23	3
8	139	10		24		26		27		27		25	
		9	1	21	3	21	5	20	7	23	4	22	3
9	141	12		24		26		27		27		25	
		11	1	21	3	20	6	20	7	22	5	22	3
１０	141	12		24		26		27		27		25	
		11	1	21	3	20	6	20	7	23	4	22	3
１１	141	12		24		26		27		27		25	
		11	1	20	4	20	6	20	7	23	4	22	3
１２	141	12		24		26		27		27		25	
		11	1	20	4	20	6	20	7	23	4	22	3
1	140	12		24		26		27		26		25	
		11	1	19	5	21	5	20	7	22	4	22	3
2	142	14		24		26		27		26		25	
		13	1	19	5	21	5	20	7	22	4	22	3
3	142	14		24		26		27		26		25	
		13	1	19	5	21	5	21	6	22	4	22	3
月平均	1674	10.5		24		25.9		27		26.8		25.3	

(2)　園児　児童発達支援事業所との並行通園児数　　(単位：人)

	５歳児	４歳児	３歳児	２歳児	計
並行通所している子	1	2	1	0	4
まだだが、気になる子	**2**	**1**	**4**	**3**	**10**

2　職員研修会

(1) 出張研修　　(単位：人)

月	日	研修会名		月	日	研修会名	
4	22	静岡市保育士会 総会・研修会	3	9～	10	県社協 人事・労務管理	2
5	17	県保連中部支部 総会・施設長研修	1		4	北部地域子育て 理事研修会②	2
	29	ときわ 理事研修会①	2		12	ときわ 自然と科学	1
	30	県保育士会 総会・講演会	2		25	県保連中部 フォローアップ研修	1
	31	ときわ わらべうた	2	11	1	市保育協会 男性保育士	1
6	7	キ保連 東海部会総会・園長研修会	1		9	ときわ 理事研修会③	2
	14	ときわ ドキュメンテーション	1		10	ときわ 絵本	1
	16	市：食品衛生課 食中毒衛生講習会	1		20 21	県保連 民間園長研修会	1
	22	県保連 総会・所長研修	1		22	県保育士会 主任保育士	1
	23	城東保健センター：中央ブロック 子育て支援連絡会	1	12	20	静岡市立田町こども園 公開保育	1
	24	ときわ 講演会	3	1	18	県保連中部支部 青年部公開保育	1
7	20	県保育士会 リーダーセミナー	1		23	末広学園 幼小接続意見交換会	2
	22	市保育協会 乳幼児の運動遊び	2	2	5	県保育士会 食育	1
8	7	県保育士会 危機管理	2		10	ときわ 新沢氏コンサート	8
9	4	ときわ 理事研修会	2		14 15	県保連 新規採用予定職員	1
	5	市保育士会 小児救急救命講座	1	3	6	ときわ 理事研修会④	2
	26	市私立保育園長会 職員研修	1	外部研修　計33回　55人参加			

(2) 園内オンライン研修　　(単位：人)

7～8月	保育・家庭教育セミナー　絵本作家降矢なな氏	百町森	11
6月24日(土)	不適切な保育とはどのようなことか　高山静子氏	こどものとも社	32
7月22日(土)	乳児保育～一人ひとりが大切に育てられるために　吉本和子氏	こどものとも社	32
10月～2月 月1回配信	乳児保育、育児担当制、保育環境　吉本和子氏	こどものとも社	16

⑶ 職員会議等　　(単位：回)

月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
職員会	22	27	24	22	17	3	14	11	2	13	3	30
給　食	17	15	19	18	21	19	23	20	18	22	19	18
主任 副主任	2回	1回	1回							1回		3回
乳児 部会	11 19	18	5	31	16		16	17				
幼児 部会	14 18 24		27	5		2	19	2		17 30		1 29
園長会	20	23	20	19	―	12	24	16	16	23	20	12
細菌 検査	11	16	13	18	22	14	17	14	12	16	13	12
害虫 駆除	20	17	9	7	4	15	5	15	15	12	2	15
防災訓練	18	23	27 29	18	23 30	26	10	7	19	16	13	14
	各クラス	地震	火災 花火 不審者	地震 水難	洪水 伝言	火災	地震 引き渡し	総合	地震 遅番	火災	火災	地震

その他、職員会議に出席できなかった職員対象の、内容を伝達する連絡会も行う
各行事の実行委員会を行事の前後4～5回行った。

3　点検・検査・清掃

項　目	月	項　目	月
園庭遊具点検	(K・Kプランニング) 11月 (ジャクエツ)3月	エアコンクリーニング	2月
消防設備点検	5月・11月	植木剪定(消毒)	6月・9月・3月
樹木医診断	3月		

4　職場体験

⑴　職場体験学習（2年）

	人数	日数	延人数
賤機中学校	2	3	6
籠上中学校	3	3	9
安東中学校	4	2	8

⑵　企業訪問

	人数	日数	延人数
藤枝市立高洲中学校	2	1	2

５　卒園児の就学状況　　(単位：人)

小学校名	人	小学校名	人
井　宮	7	服　織	2
安　西	4	田　町	1
井宮北	3	東豊田	1
賤機南	3	千代田東	1
葵	3	合　計	25

６　園児在園期間　　(単位：人)

在　園　期　間	人
6年以上	6
5年以上	14
4年以上	2
3年以上	2
2年以上	3
1年以上	0
1年未満	0
計	27

７　コロナウイルス・インフルエンザ感染数　　(単位：人)

	幼児	乳児	職員	計
コロナウイルス	3	0	20	**23**
インフルエンザ	28	27	9	**64**
計	31	27	29	**87**